

## タイトル 「昭和の思い出」

a2200507 宇内 優子

### 【制作意図】

字が読めないときから漫画「サザエさん」や、映画化された「三丁目の夕日」を読んでいた私にとって昭和の時代(特に昭和30年代頃)はとても魅力的に感じられました。

私も含め、その当時は過ごしていない人にとってはただの「過去」でしかないのかもしれない。しかし、現代のようにカラオケもテレビゲームもテーマパークも無い時代に、人との繋がりが沢山あったように思います。特に今年は、2007年問題として団塊の世代の方が大勢退職します。

私は、その団塊の世代の人達こそが昭和30年代を過ごしていた事に注目して、今は稀薄になってしまった家族の会話や忘れかけていた日々を思い出すお手伝いが出来たらいいなと思っています。

そして若い世代の人には、「一人一個ではなく家族で一個」、「一つのことを大切に長く使う」というような昭和30年代の良い所を学んでいって欲しいと思います。

### 【デザインコンセプト】

「おばあちゃんが孫の為に作ってくれたもの」のようにぬくもりを感じられて、ほっとするような作品を目指して作る。

### 【制作過程】

資料収集 アンケート調査 制作物の決定 材料収集 制作

### 【制作方法】

Adobe Photoshop CS、Adobe Illustrator CS、手芸

### 【制作物】

レターセット、メモ帳、お手玉、ぬりえ、豆本、など。

実際に母が使っていたダンスを活用し、引き出しに制作物をいれます。何が入っているか開ける楽しみを感じて下さい。

### 【考察】

計画をしっかり立てて制作すれば、もう少し統一感のある作品が出来たのではないかと思います。私の作品が、家族のコミュニケーションの場になれば嬉しいです。



(実際に昭和30年代に使っていたダンス)



(鈴をつけたお手玉)

### (便箋と封筒のデザイン)

